2023年８月31日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および ＫＰＩ実績値の公表について

ＪＡグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。
当組合では、『わたしたちは、親しみと信頼で人と人をつなぎ、次代にわたり、ふるさとの農業とくらしを支え続けます。』の経営理念のもと、2017年３月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。
今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、より組合員・利用者本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

山口県農業協同組合

Ⅰ.取組状況

1　お客さまへの最適な商品提供 【原則２本文および（注）、原則３（注）原則６本文および（注２、３）】

- 組合員・利用者に提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、組合員・利用者と向き合い多様なニーズにお応えできるものを選定します。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ＪＡバンクでは、業態の中央機関である農林中央金庫において、安定型から積極型まで幅広い商品を揃えつつ、組合員・利用者にとっての選びやすさも考慮し、一定の商品数に絞った「ＪＡバンク　セレクトファンド」をご案内いたします。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2023年3月末時点）＞

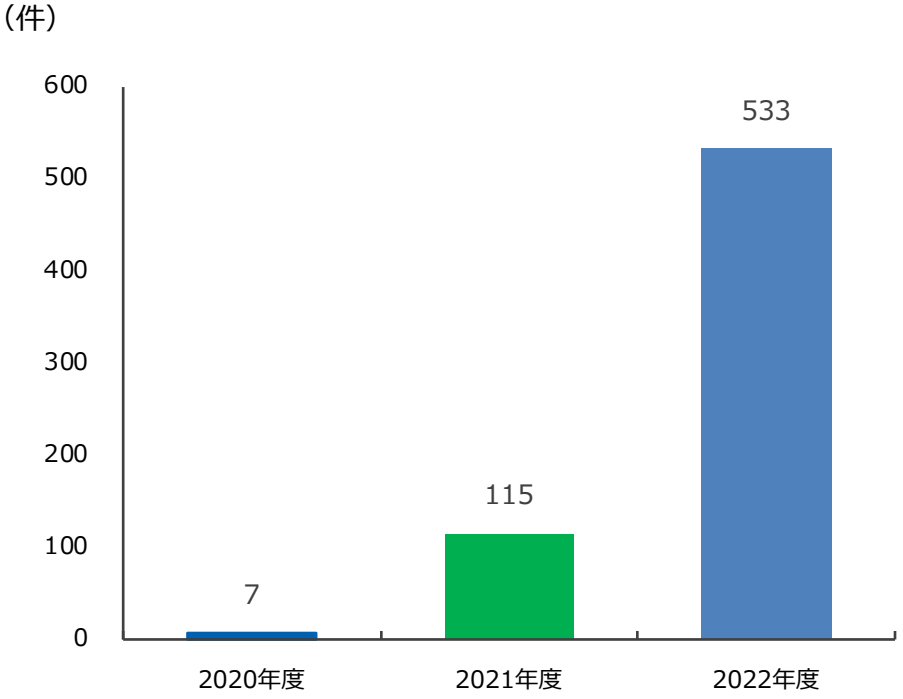
カテゴリ	国内	海外
債券型	1 （前年度末：１）	5 （前年度末：５）
株式型	5 （前年度末：５）	5 （前年度末：５）
REIT型	2 （前年度末：２）	3 （前年度末：３）
バランス型	8 （前年度末：８）	

※　現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

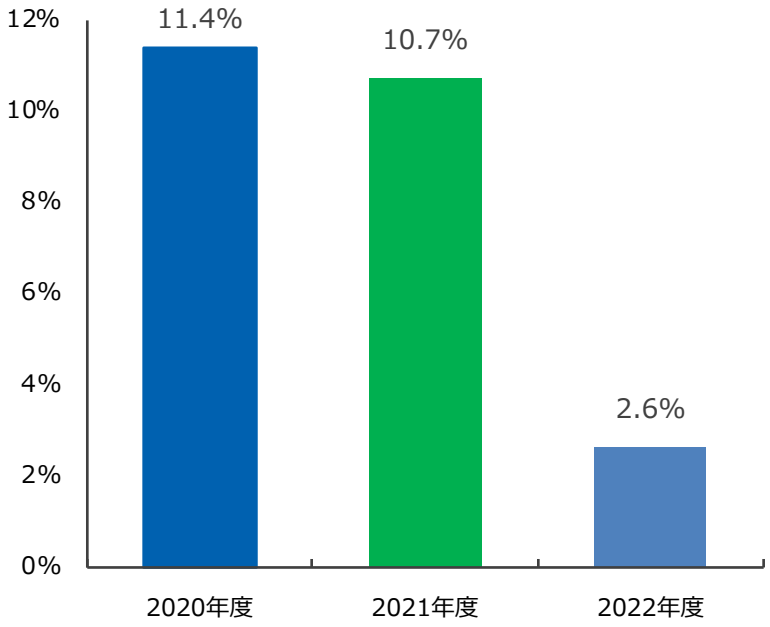
2　お客さま本位のご提案と情報提供①【原則２本文および（注）、原則５本文および(注１～５）、原則６本文および（注１、２、４、５）】

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加し、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客様の比率が低下いたしました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



2　お客さま本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- 金融商品のご提案においては、組合員・利用者との対話の中で、ライフイベントに沿って「つかう・ためる・ふやす」等お金の色分けを一緒に考え、運用目的に寄り添ったご提案をいたしました。
- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、継続的に必要な情報を十分にご提供いたしました。
- 当組合では、「スタイル診断シート」を活用してお客様のリスク許容度を４段階で判定し、各商品のリスク度や手数料を一覧化した「セレクトファンドマップ」を用いて組合員・利用者のリスク許容度に応じた商品をご案内いたしました。
- また、お客様ご自身で残高・時価情報を確認できる「ＪＡバンクアプリ」や、「各種報告書類の見方」をご案内させていただき、運用会社作成のレポート等を含め継続的に必要な情報を十分にご提供いたしました。

3　利益相反の適切な管理 【原則３本文および（注）】

- ＪＡバンクでは、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- 当組合では、投資信託の販売における利益相反が生じる可能性が高い場面において、「重要情報シート」を活用して組合員・利用者に利益相反が生じる可能性を具体的に説明いたしました。

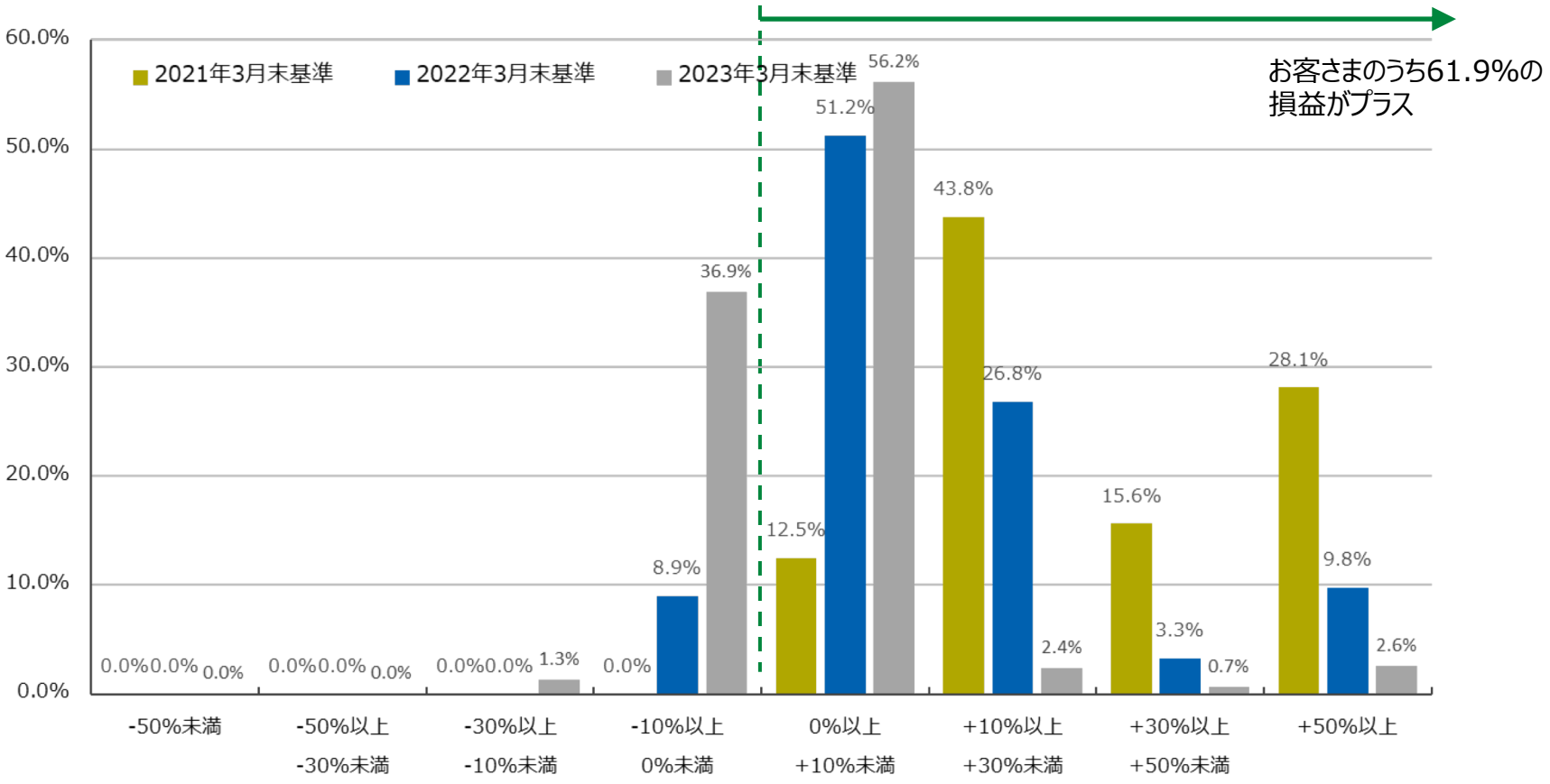
4　お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）】【原則７本文および（注）】

- ＪＡバンクでは、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、各種研修の参加や資格取得を推進しております。また、運用会社と連携した商品提案・商品内容に関する勉強会の開催により、外務員の知識・提案力の向上を図ります。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

1　運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2023年3月末時点では全体の61.9%のお客さまの損益がプラスとなりました。

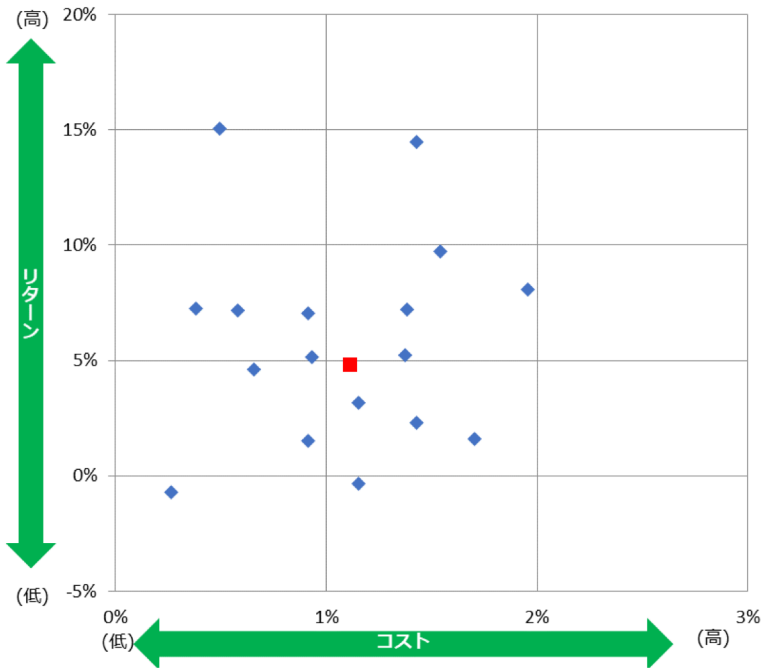


Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

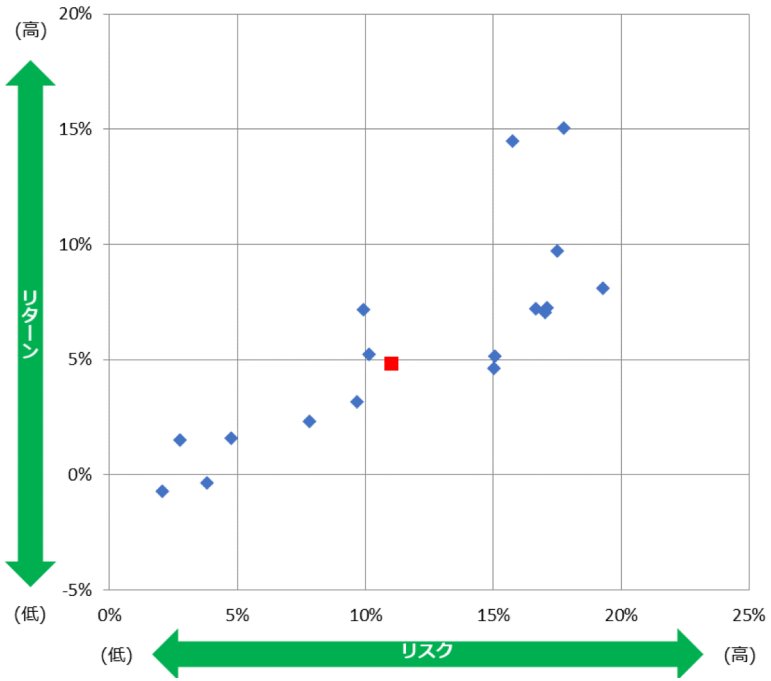
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2023年３月末）

- ＪＡバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.1%、平均リスク11.0%に対して、平均リターンは4.8%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



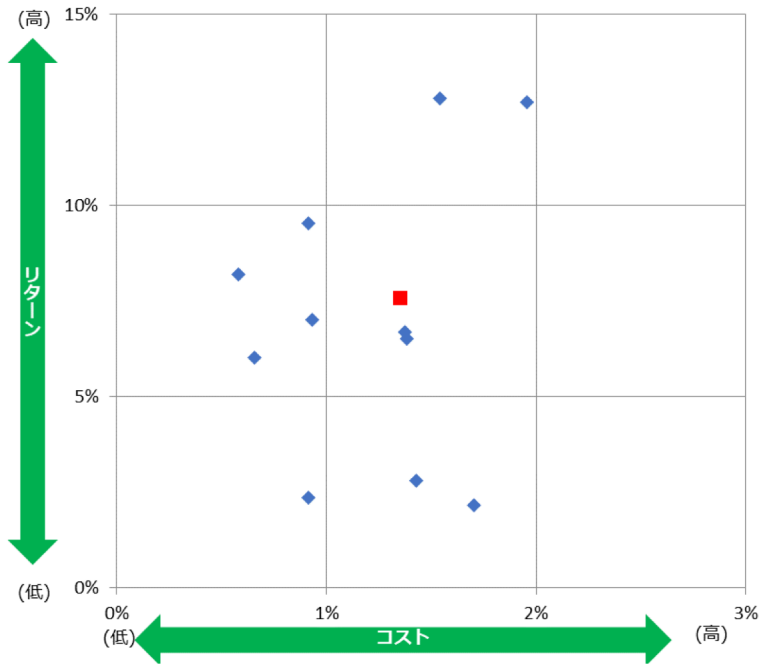
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

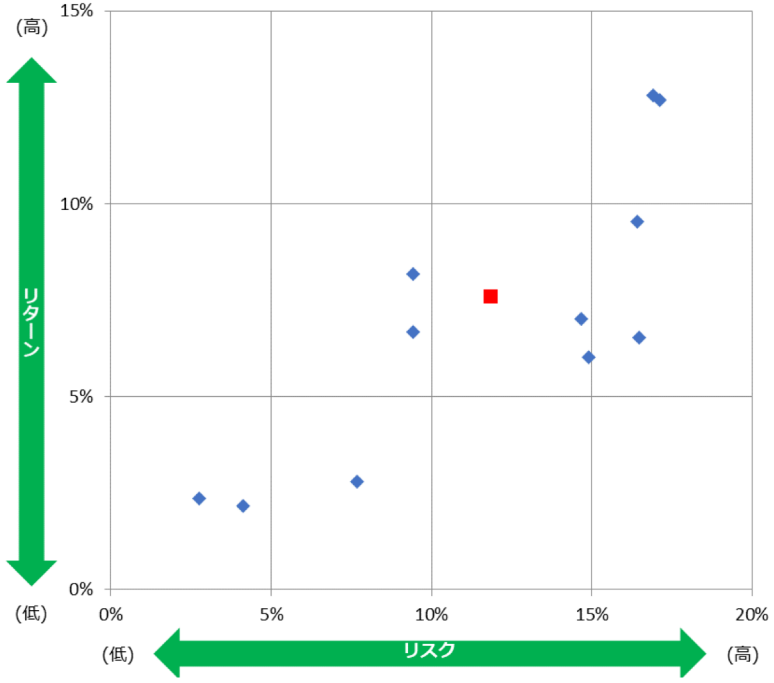
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2022年３月末）

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.3%、平均リスク11.8%に対して、平均リターンは7.5%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞

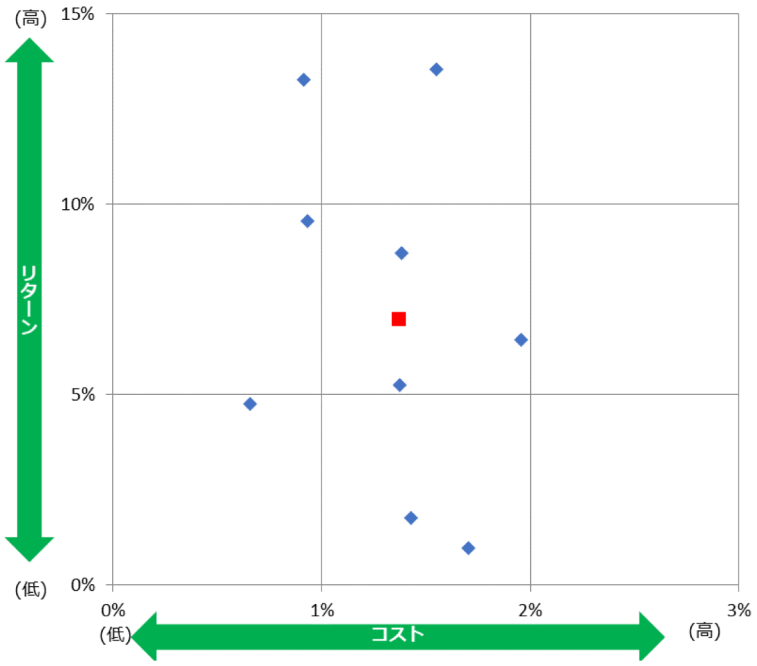


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

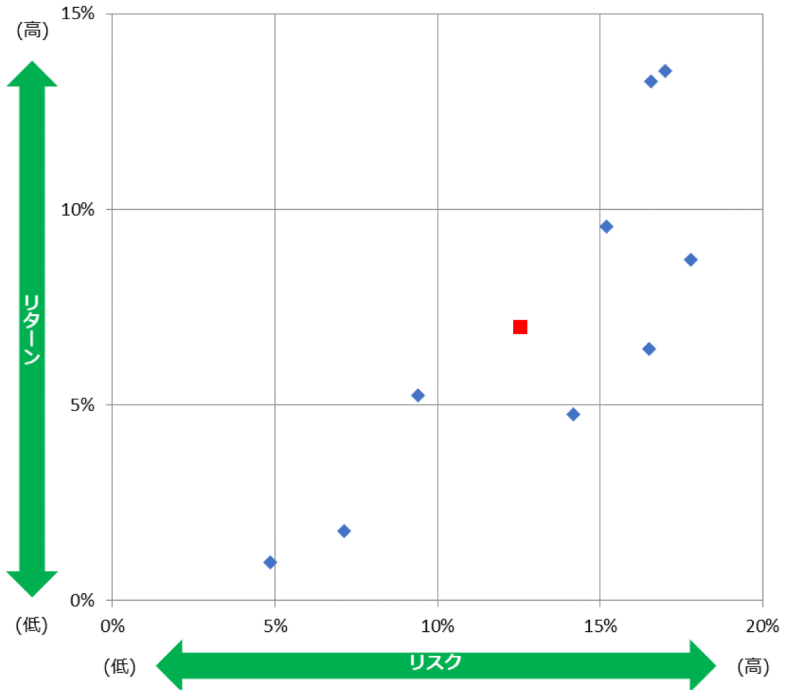
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）　（2021年３月末）

- 2021年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.3%、平均リスク12.5%に対して、平均リターンは6.9%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2023年３月末）

【預り残高上位20銘柄（設定後5年以上経過したもの）】

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ（資産形成コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	3.2%	9.7%	1.2%
2	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ（安定運用コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.3%	3.8%	1.2%
3	つみたてＮＩＳＡ米国株式　Ｓ＆Ｐ５００	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.1%	17.7%	0.5%
4	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.0%	17.0%	0.9%
5	世界の財産３分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	5.2%	10.1%	1.4%
6	ＤＩＡＭハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne（株）	2.3%	7.8%	1.4%
7	ダイワ・グローバルＲＥＩＴ・オープン	大和アセットマネジメント（株）	8.1%	19.3%	2.0%
8	Ｊ－ＲＥＩＴインデックス（毎月分配型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.6%	15.0%	0.7%
9	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	9.7%	17.5%	1.5%
10	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne（株）	1.5%	2.8%	0.9%
11	つみたてＮＩＳＡ日本株式　日経２２５	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.3%	17.1%	0.4%
12	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	7.2%	9.9%	0.6%
13	長期厳選投資　おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.5%	15.7%	1.4%
14	ＪＡ日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.7%	2.1%	0.3%
15	ＮＺＡＭ日本好配当株オープン３ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.2%	16.7%	1.4%
16	ＪＡ　ＴＯＰＩＸオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	5.2%	15.1%	0.9%
17	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信（株）	1.6%	4.7%	1.7%
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		4.8%	11.0%	1.1%

※ 2023年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は１７本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2022年３月末）

【預り残高上位20銘柄（設定後5年以上経過したもの）】

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	世界の財産３分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	6.7%	9.4%	1.4%
2	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	9.5%	16.4%	0.9%
3	ダイワ・グローバルＲＥＩＴ・オープン	大和アセットマネジメント（株）	12.7%	17.1%	2.0%
4	ＤＩＡＭハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne（株）	2.8%	7.7%	1.4%
5	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne（株）	2.4%	2.8%	0.9%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	12.8%	16.9%	1.5%
7	Ｊ－ＲＥＩＴインデックス（毎月分配型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	6.0%	14.9%	0.7%
8	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	8.2%	9.4%	0.6%
9	ＮＺＡＭ日本好配当株オープン３ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	6.5%	16.5%	1.4%
10	ＪＡ　ＴＯＰＩＸオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.0%	14.7%	0.9%
11	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信（株）	2.2%	4.1%	1.7%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		7.6%	11.8%	1.4%

※ 2022年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は１１本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2021年３月末）

【預り残高上位20銘柄（設定後5年以上経過したもの）】

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	世界の財産３分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	5.2%	9.4%	1.4%
2	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.3%	16.6%	0.9%
3	ダイワ・グローバルＲＥＩＴ・オープン	大和アセットマネジメント（株）	6.4%	16.5%	2.0%
4	ＤＩＡＭハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne（株）	1.8%	7.1%	1.4%
5	Ｊ－ＲＥＩＴインデックス（毎月分配型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.8%	14.2%	0.7%
6	ＮＺＡＭ日本好配当株オープン３ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	8.7%	17.8%	1.4%
7	ＪＡ　ＴＯＰＩＸオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	9.6%	15.2%	0.9%
8	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	13.6%	17.0%	1.6%
9	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信（株）	1.0%	4.9%	1.7%
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		7.0%	12.6%	1.4%

※ 2021年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は９本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。